

# 特定外来生物 ウチダザリガニ報告

## はじめに

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）での繁殖地の他、村道曾原線の築部沢山麓よりの水系と思われる小川の調査を今年度も継続した結果、繁殖地であることを確認した。今年度から観光協会主催の「ウチダザリガニを釣って、食べて減らそう」プログラムが中止となり、曲沢の脇の沼と曾原湖へ注ぐ水路の個体数が増えていると思える。曲沢沼の場所が周知されているので、ざりがに釣りに家族で来ている方が多く見受けられる。看板等の設置を要望したがいまだ掲示されていない。環境省との話し合いで、「特定外来生物・ウチダザリガニ持ち出し禁止」のパウチした A4 カードを各キャンプ場に配布した。

福島県環境創造センター主催の環境学習会で「特定外来生物って何だろうウチダザリガニを釣って・食べて・学ぼう」（8月23日）への協力、当協会のアドベンチャープログラムなどを開催した。

## 調査日

令和2年『6月4・5日』 『7月1・2日』 『7月21日・22日』  
『8月19日（講座）』 『10月21・22日』 『11月12・13日』

## 調査方法

前日に沼や川に餌を入れたかごをかけて翌日引き上げて捕獲する

## 調査範囲

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）、堤防沼、曾原部落入会沼、ヴィラ裏磐梯内小川  
2か所、保養施設 A 内沼

## 考 察

曲沢上流域の沼（レイクウッド沼）はかつてため池として使用されていたようで、流出口の水門らしきものが9月の台風により崩れてしまい、水位が大幅に下がってしまった。繁殖地として水位の減少がどの程度になるのかを見ていかなければならない。11月に初めて調査を実施した結果ヴィラ裏磐梯の小川で、抱卵個体を捕獲したので繁殖地であることは間違いない。小川の上流域を調査した結果、萱原になっておりたどることができなかった。萱原から自然に小川になったあたりで、どのような水生生物がいるのかを調査する必要がある。保養所 A については熊の生息域のようで沼をつなぐ水路は見通しが悪い。安全に調査を心掛け籠を掛けるポイントを探りたい。来年度は個体の計測だけでなく、ウチダザリガニの繁殖による影響を調べていく必要があると感じている。

## 調査者

担当：真野真理子 赤木進二